

アラビア語とヘブライ語

<1>アラビア語

アフロ※₁・アジア語族の**セム語派**に属し、世界で4番目※₂に多くの国と地域で使用されている言語である。「アラビア語」は、もともとアラビア半島で話されていたが、北アフリカやイラク、シリア方面まで広がり、主に西アジアや北アフリカのアラブ世界で話されている。

話される国

アラブ首長国連邦、アルジェリア、イエメン、**イスラエル**、イラク、イラン、**エジプト**、エリトリア、オマーン、カタール、ガンビア、クウェート、コモロ、サウジアラビア、西サハラ、シリア、スーダン、ソマリア（ソマリランド含む）、チャド、チュニジア、**パレスチナ**（ガザ地区・ヨルダン川西岸地区）、バーレーン、マリ、モーリタニア、モロッコ、ヨルダン、リビア、レバノン



緑：アラビア語が唯一の公用語

青：アラビア語がいくつかの公用語の一つ

水色：アラビア語が地域/マイノリティ言語

<2>ヘブライ語

アフロ・アジア語族の**セム語派**に属する**北西セム諸語**の一つで、言語系統はアラビア語と同じである。古代にイスラエルに住んでいた**ヘブライ人**（イスラエルとその占領地など、**ユダヤ人**および**サマリア人**）が母語として用いていた言語**古代ヘブライ語**（または聖書ヘブライ語）は西暦 200 年頃に口語（日常生活の中での会話で用いられる言葉遣い）として滅亡し、その後は**典礼言語**等として使われてきた。

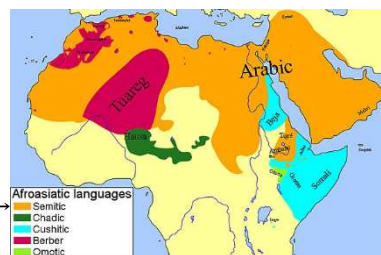
ミシュナー・ヘブライ語は 5 世紀までには話し言葉として使用されなくなったが、ユダヤ教のヘブライ語聖書の典礼言語としては使用され続けた。

現在イスラエル国で話される**現代ヘブライ語**は、約 1800 年以上の断絶を経て近代ヨーロッパで復興された言語である。

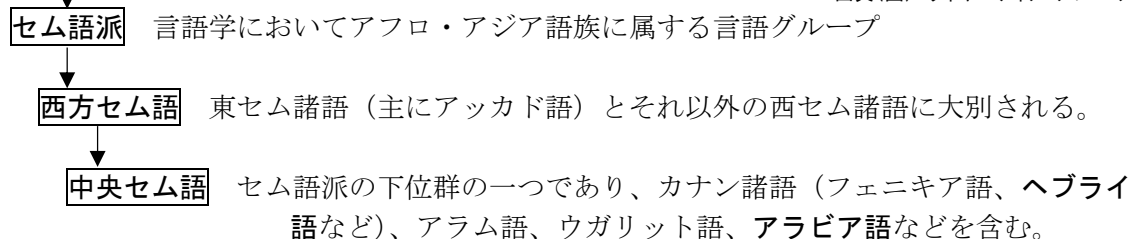
【参考】アフロ・アジア語族

アラビア半島を中心とする西アジアおよび北アフリカに分布する語族で、**エジプト語派**、**オモ語派**、**クシ語派**、**セム語派**、**チャド諸語**、**ベルベル語派**がある。

話される地域：北アフリカ、ソマリ半島、サヘル地域、中東



出典(図): ウィキペディア「アフロ・アジア族」



※ 1：アフリカという意味のラテン語接頭辞

※ 2：英語 11 億 8,645 万人(25.9%)、中国語 8 億 8,845 万人(19.4%)スペイン語 3 億 6,368 万人(7.9%)、アラビア語 2 億 3,742 万人(5.2%)、インドネシア語・マレー語 1 億 9,803 万人(4.3%)

(2022 年 7 月 31 日時点・推定、© 1995 WIP Japan Corporation)